

**Pioneer**

DVD-R/RWドライブ

**DVR-S303**

**取扱説明書**

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」は必ず保管してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。重要なデータに関しては、万が一に備えてバックアップ（複製）を行ってください。

## 安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならぬ内容であることを示しています。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。  
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

本機はパソコンのSCSI（Small Computer System Interface）周辺機器としてご使用いただけます。

DVDフォーマットによる、大容量のデータの記録／再生が可能です。

## 目次

安全上のご注意	2
設置上のご注意	4
お使いになる前に	4
付属品の確認	4
使用上のご注意	5
各部の名称と働き	6
接 続	7
操 作	9
その他	10
トラブルと対策	10
お手入れについて	10
DVD-R/RW、CD-R/RWディスクについて	10
仕 様	11
保証とアフターサービスについて	12

## 安全上のご注意

### 警告

#### 〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなど  
の異常状態のまま使用すると火災や感電の原因  
となります。すぐに機器本体の電源スイッチを  
切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて  
ください。煙が出なくなるのを確認してお近く  
のパイオニアサービスステーションまたはお求  
めの販売店に修理をご依頼ください。お客様に  
よる修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機  
器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコ  
ンセントから抜いてお近くのパイオニアサー  
ビスステーションまたはお求めの販売店にご連絡  
ください。そのまま使用すると火災や感電の原  
因となります。














プラグを抜け













万一本機を落としたり、カバーを破損した場  
合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プ  
ラグをコンセントから抜いてお近くのパイオニ  
アサービスステーションまたはお求めの販売店  
にご連絡ください。そのまま使用すると火災  
や感電の原因となります。



プラグを抜け

# 安全上のご注意

 <b>警告</b>	
<b>〔設置〕</b> 後面にあるファンおよび前面の吸気孔をふさがないようにしてください。また、水平で安定した場所以外には設置しないでください。	 禁止
電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。	 禁止
放熱をよくするために、他の機器や壁との間隔をとってください。ラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方では通風孔をふさがないようにしてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● あおむけや横倒にする。</li> <li>● じゅうたんの上に置く。</li> <li>● 風通しの悪い狭いところに押し込む。</li> <li>● テーブルクロスなどをかける。</li> </ul>	 禁止
<b>〔使用環境〕</b> 下記の温度や湿度以外では使用しないでください。 セット動作温度：+5～+35（通風孔をふさがない条件にて） 湿度：10～80%（結露のないこと）	 禁止
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出や断線など）、お近くのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店に交換をご依頼ください。	 禁止
本機に水が入ったり、ぬれることがないようにご注意ください。湿気の多い場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。	 禁止
表示された電源電圧（交流100ボルト、50/60Hz）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災や感電の原因となります。	 禁止
<b>〔使用方法〕</b> 動作中に、衝撃や振動を加えたり、電源スイッチを切らないでください。	 禁止
動作中に本機を動かしたり、持ち上げたりしないでください。ディスクは高速で回転していますので、本機を持ち上げたり、移動したりすると、ディスクが傷つきます。移動するときは、ディスクを取り出し、電源を切ってから行ってください。	 禁止
本機の隙間などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。	 禁止

 <b>警告・注意</b>	
本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検や整備、修理はお近くのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご依頼ください。	 分解禁止
本製品は精密機器のため、分解が必要の際には必ずお近くのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店に依頼してください。	
本機の上に薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。	 禁止
本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	 禁止
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。	 禁止
電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。	 禁止
電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災や感電の原因となることがあります。	 禁止
移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。	 プラグを抜け
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。	 禁止
シャッターのすき間から内部をのぞきこまないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。	 注意
ディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。	 注意
冬季などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露がおこったら（結露の程度にもよりますが）、本機の電源コードを抜いた状態でしばらく放置し、完全に本機が乾燥するまで待ってから電源を入れてください。結露は夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでもおこることがあります。その場合には設置場所を変えてください。	 注意

本機のご使用にあたっては、各国の著作権法に抵触しないようご注意ください。

本機を使用して著作物の記録を行う場合には、各著作権者・著作隣接権者の許諾を得る必要があります。

各権利者の許諾なくして著作物の記録を行った場合には、処罰の対象となる場合があります。（この場合の権利者とのトラブルについては、弊社は一切の責任を負いかねます。）

## 設置上の注意

### 本機の使用環境

セット動作温度：+5 ~ +35

湿度：10% ~ 80%（結露のないこと）

次のような場所には設置しないでください

- 太陽光線や強力なライトが直接あたる場所
- ほこりや振動の多い場所
- 強電磁界の場所
- 熱源の近く
- 電気的なノイズが多い場所
- 静電気を帯びやすい場所

次のことを守ってください

- 本機は内部の温度が上がらないようにファンや吸気孔を設けています。これらは絶対にふさがないように。

- 水平で安定した場所でご使用ください。ぐらつく場所やソファの上などでは使用しないでください。
- 本機の上には重いものを乗せないでください。
- 本機を垂直に立てて使用することはできません。必ず水平に置いて使用してください。

持ち運び、輸送をするとき

- ディスクを取り出し、電源を切り、コード類をすべて外してください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- 熱を受けたり、水などがかからないようにしてください。
- 輸送する際は、購入時のパッキングケースを使用してください。

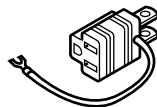
大型電気機器や落雷などによる電源障害は、修復不可能な書き込みエラーを引き起こすことがあります。

DVD-Rディスクは大容量のライトワンスメディアです。確実な書き込みを行うために、ライティングシステム（本装置及びホストコンピュータ、HDD）の電源には“交流無停電電源装置”のご使用をお勧めします。

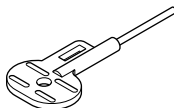
## お使いになる前に

### 付属品の確認

- 電源コード
- 変換プラグ



- アプリケーションソフト
- 強制イジェクト用ピン



- 取扱説明書
- 保証書
- サービスネットワーク

ご注意：

デバイスドライバーソフトウェアは付属してしていません。コンピュータにはプラグ・アンド・プレイで自動認識されます（Windows系のOSにCD-ROMドライブとして対応しております）。

同梱されていない付属品がありましたら、お買上の販売店へご連絡ください。

## 使用上のご注意

### 本体についてのご注意

1. 本機が動作しているときは
  - 衝撃や、振動を与えないでください。
  - 電源スイッチを切ったり、コード類を抜いたりしないでください。
2. ディスクトレイを出したまま放置しないでください。内部にほこりが入り、故障の原因となります。
3. 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは、2m以上離して使用するか、コンセントを別にしてください。
4. 長期間使用しないときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

### 推奨ディスクについて

- 安定した記録・再生のために推奨ディスクをご使用ください。
- 推奨ディスクについては、販売店または弊社ホームページ( <http://wwwbsc.pioneer.co.jp> )にてご確認ください。

### アプリケーションソフトウェアについて

- アプリケーションの操作方法やアプリケーションによって起きるトラブルについては、各アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

### リージョン(地域)コードについて

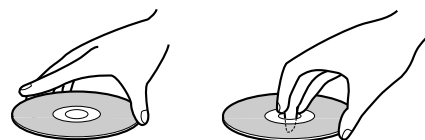
このドライブの地域コードの変更は(初回の設定を含め)**5回**しか行えませんので、変更を行う際には十分注意してください(5回目の変更が最終の地域コードとして固定されます)。

- 地域コードはDVD規格の一部です。しかし、地域コードはDVDディスクの随意科目ですので、地域コードを規定していないDVDディスクは、すべてのプレーヤーで再生できます。

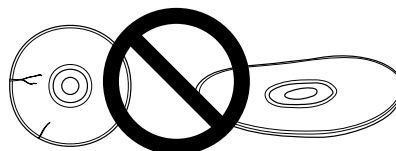
### ディスクの取り扱い

ディスクに傷や指紋、ほこりが付くとデータの記録や再生ができなくなります。以下に示すことをよく読んで取り扱ってください。

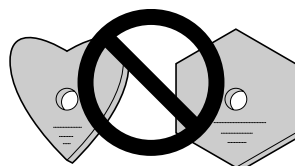
- ディスクを持つときは信号面(光沢面)に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の孔と端をはさんでください。



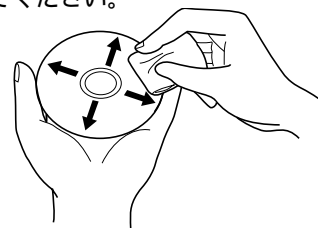
- ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ひびが入っていたり、反ったディスクは使用しないでください。(ディスクは高速回転するために危険です)



- 規格外のディスクを使用しないでください。使用した場合、本機および他の機器に悪影響をおよぼす場合があります。
- 特殊な形のディスク(ハート形や六角形等)を使用しないでください。故障の原因となることがあります。



- ディスクが汚れていたらディスクの内側から外側に向かって軟らかい布で拭いてください。円周に沿って拭かないでください。

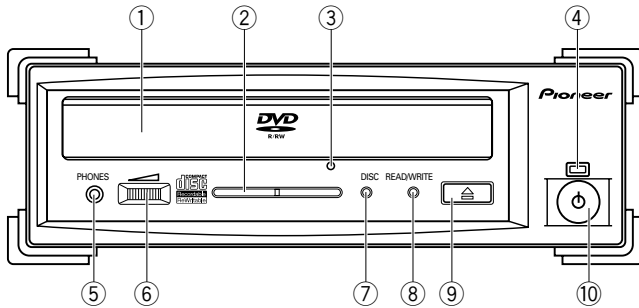


- レコードスプレーや帯電防止剤は使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあるので使用しないでください。

- ディスクを使用しないときは、必ず専用のケースに保管してください。
- ご使用前にディスク(特に信号面)が汚れていないことを確認してください。

# 各部の名称と働き

## フロントパネル



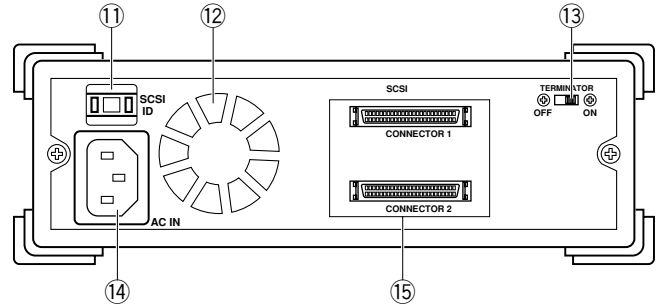
- ① ディスクトレイ  
オープン/クローズボタンで開閉し、ディスクをレーベル面を上にしてのせます。
- ② 吸気孔  
この吸気孔部分は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。設置の際は、この孔をふさがないようにしてください。(故障の原因となります)
- ③ 強制イジェクトホール
- ④ 電源インジケータ  
電源を入れると点灯します。
- ⑤ ヘッドホン端子 (PHONES)
- ⑥ ボリュームコントロール  
ヘッドホン端子の音量を調整するときに使用します。
- ⑦ ディスクインジケータ (DISC)  
ディスクがロードされると点灯します。

トレイ開閉時	グリーンの点滅
再生専用ディスク	グリーンの点灯
記録可能ディスク	オレンジの点灯
未サポートディスク	オレンジの点滅

- ⑧ 動作インジケータ (READ/WRITE)  
各動作状態を表示します。

再生時	グリーンの点灯
記録時	オレンジの点灯
エラー発生時	オレンジの点滅
異常内部温度上昇	1回点滅の繰り返し
レンズまたはディスクの汚れ	2回点滅の繰り返し
その他のエラー	3回点滅の繰り返し

## リアパネル



- ⑨ オープン/クローズボタン (▲)  
ディスクトレイを出し入れします。
- ⑩ 電源スイッチ  
電源を入/切します。
- ⑪ SCSI ID スイッチ (SCSI ID)  
SCSI ID番号 (0~6) を設定します。
- ⑫ 通風孔  
この通風孔部分は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。設置の際は、この孔をふさがないようにしてください (故障の原因となります)。
- ⑬ ターミネータスイッチ (TERMINATOR)  
本機のSCSIターミネータをオン/オフします。
- ⑭ ACインレット (AC IN)  
付属の電源コードを使用して壁のコンセント (AC100V、50/60Hz) に接続します。
- ⑮ SCSIコネクタ  
SCSI用ハーフピッチ50Pコネクタで、ディジーチェーン接続用に2個用意されています。(どちらを使用しても構いません)

# 接 続

本機を使用するために、電源コードとSCSIケーブル（市販ハイインピーダンス仕様）を接続します。接続後はターミネータスイッチの設定、SCSI ID番号の設定を行ってください。

接続を行うとき、または接続や設定の変更を行うときには、必ず機器の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

コンピュータ側にSCSIコネクタが無い場合は、市販のSCSIホストアダプタを増設してください。

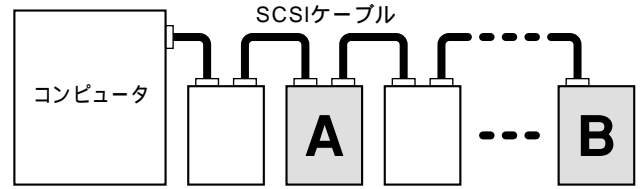
## 電源コードの接続

本機のリアパネルにあるACインレットに電源コードを差し込みます。

## SCSIケーブルの接続

SCSIケーブルは長さが6m以内のものを使用してください。（ディジーチェーンで接続する場合は総延長で6m以内になるようにし、より安定した動作のために、ケーブル長はできるだけ短くしてください）

本機のリアパネルにあるSCSIコネクタとコンピュータとの間をSCSIケーブルで接続します。本機のSCSIコネクタは2つありますが、どちらに接続しても構いません。



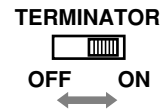
ディジーチェーンの接続例

## ターミネータスイッチの設定

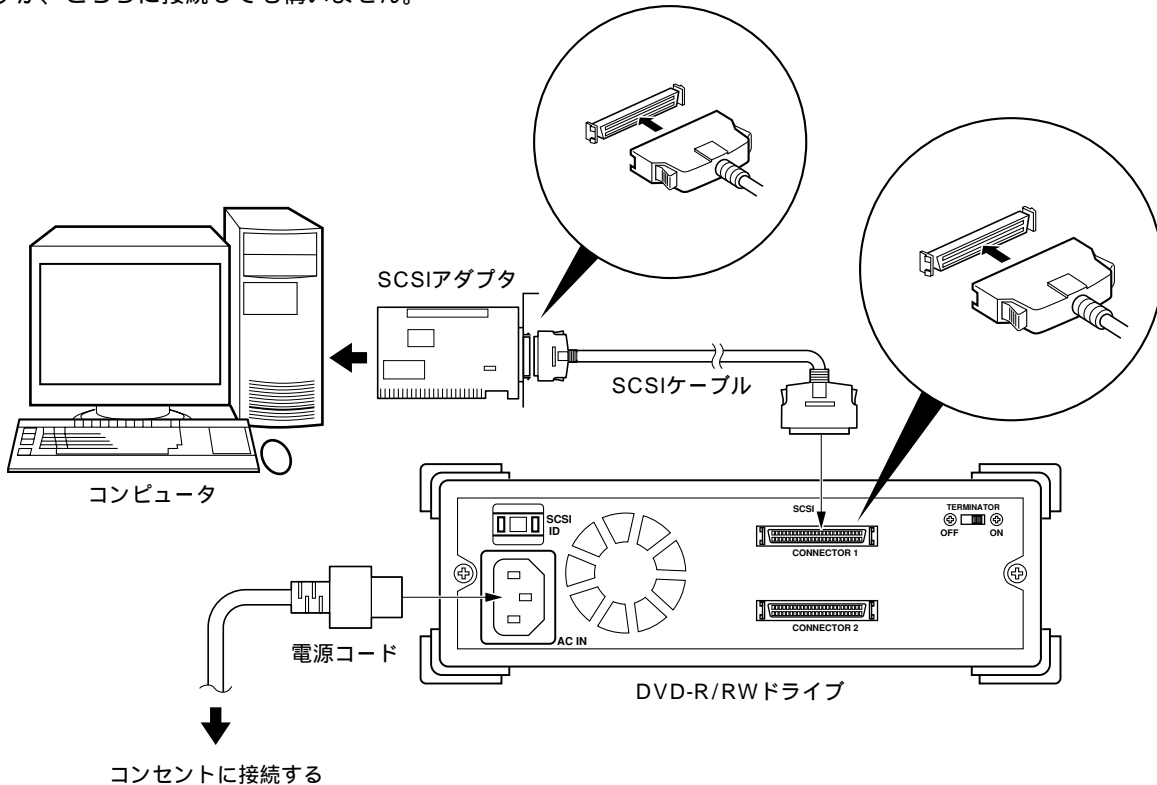
ディジーチェーン接続をする場合、本機を“ A ” の位置で使うときはターミネータスイッチを「 OFF 」にしてください。

“ B ” の位置で使うときはターミネータスイッチを「 ON 」にしてください。

コンピュータに本機だけを接続した場合もターミネータスイッチは「 ON 」にします。



ご注意：  
工場出荷時は「 ON 」に設定されています。



### ターミネータについて

ターミネータはコンピュータに接続しているSCSI機器の終端に設定します。

本機にはターミネータが組み込まれています。製品出荷時にはターミネータはON（有効）に設定されています。

本機をSCSIの終端に接続した場合には、そのまま（ターミネータON）でご使用ください。

本機の後ろにSCSI機器を接続する場合には、本機のターミネータをOFFにしてご使用ください。

#### ご注意

書き込みシステムにおいて動作エラーが発生する場合には、接続ケーブルや使用環境等の見直しが必要ですが、外付けターミネータの使用で改善される場合があります。外付けのターミネータを使用する場合には、本機のターミネータを必ずOFFにしてご使用ください。

### SCSI ID番号の設定

本機のリアパネルにあるスイッチで設定します。

コンピュータは、接続されているSCSI機器をSCSI ID番号で認識します。

一般にSCSI機器のSCSI ID番号は、ハードディスクドライブ「0」、CD-ROMドライブ「3」、SCSIホストアダプタ「7」に設定されています。それぞれに付属の説明書をご参照のうえ、他のSCSI機器と重複しないように設定してください。



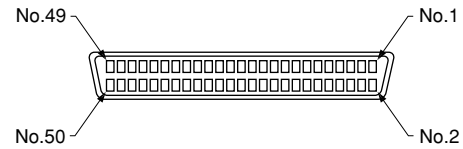
"+"ボタンを押すごとに番号が0, 1, 2, ..., 6に、"- "ボタンを押すごとに番号が6, 5, ..., 0に変わります。

#### ご注意：

- 工場出荷時は「0」に設定されています
- スイッチの破損防止のために、SCSI ID番号が「6」のときに"+"ボタンを、「0」のときに"- "ボタンを押さないでください。
- 本機は電源が入ったときにSCSI ID番号の設定を認識します。

### SCSIコネクタのピン配列と信号名

コネクタピンNo.とピン配列は下図のとおりです。



ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
1	GND	18	DBP	35	GND
2	DB0	19	GND	36	BSY
3	GND	20	GND	37	GND
4	DB1	21	GND	38	ACK
5	GND	22	GND	39	GND
6	DB2	23	NC	40	RST
7	GND	24	NC	41	GND
8	DB3	25	NC	42	MSG
9	GND	26	TRMPW	43	GND
10	DB4	27	NC	44	SEL
11	GND	28	NC	45	GND
12	DB5	29	GND	46	C/D
13	GND	30	GND	47	GND
14	DB6	31	GND	48	REQ
15	GND	32	ATN	49	GND
16	DB7	33	GND	50	I/O
17	GND	34	GND		



# 操 作

DVD-R/RWライティングシステムは、コンピュータとDVD-R/RWドライブで構成されます。

DVD-R/RWドライブを操作するには、付属のアプリケーションソフトをコンピュータにインストールする必要があります。（付属のアプリケーションソフトが対応していないコンピュータおよびOSでは動作しません）

## DVD-R/RWシステムの起動

1. DVD-R/RWドライブの電源を入れる。
2. コンピュータシステムの電源を入れる。
3. オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを開ける。
4. ディスクをレーベル面を上にしてディスクトレイに置く。
5. オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。
6. アプリケーションプログラムを起動して操作する。

## DVD-R/RWシステムの終了

1. アプリケーションプログラムを終了する。
2. オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを開ける。
3. ディスクを取り出す。
4. オープン/クローズボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。
5. コンピュータシステムの電源を切る。
6. DVD-R/RWドライブの電源を切る。

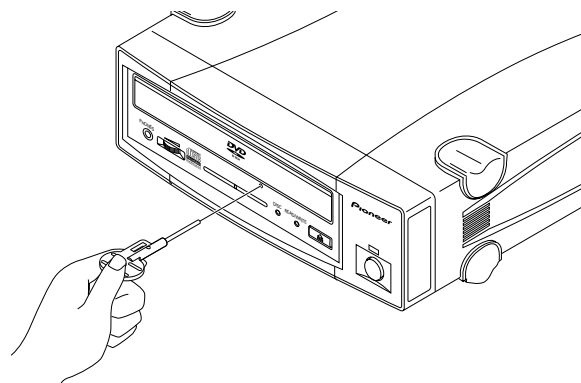
- アプリケーションソフトインストールおよび、ディスクの記録/再生の操作については、各アプリケーションソフトのマニュアルまたはヘルプ画面をご参照ください。

## 緊急時のディスクの強制取り出し方法

次のような場合、強制イジェクトホールを使ってディスクを取り出すことができます。

- 本機が故障し、オープン/クローズボタンまたはソフトウェアにてディスクを取り出せない時

1. 本機の電源が切れていて、ディスクの回転が停止していることを確認してください。
2. 付属の強制イジェクト用ピンを強制イジェクトホールに真すぐ差し込み、強く押し込んでください。
3. ディスクトレイが5～10mmほど出てきますので、トレイを引き出し、ディスクを取り出してください。



ご注意：

- 必ず付属の強制イジェクト用ピンを使用してください。（他のものは使用しないでください）
- ディスク回転中の強制イジェクトはケガやディスクの損傷の原因となりますので絶対に行わないでください。
- ディスク排出動作の妨げになることがありますので、本機の前面12cm以内に物を置かないでください。

## トラブルと対策

意外な操作ミスが故障と思われがちです。故障かな?と思ったら症状にあわせて下の項目をチェックしてください。

なお、下記の処置を行っても異常が直らない場合は、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。

また、アプリケーションソフトで起きるトラブルについては、アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

### 電源インジケータが点灯しない

- 電源コードを正しく接続していますか?
- 電源スイッチをオンにしていますか?

### コンピュータがSCSI機器を認識して正しく起動しない

- コンピュータを起動する前に、すべてのSCSI機器を接続し、電源をオンにしましたか?  
ディジーチェーンの全てのSCSI機器の電源をオンにしてからコンピュータを起動してください。
- ケーブルを正しく接続しましたか?  
全てのケーブルを正しいポートに接続してください。
- SCSI ID番号は正しく設定されていますか?  
SCSIディジーチェーン上の機器はそれぞれ異なったID番号にしてください。
- ターミネータは正しくセットされていますか?  
DVD-R/RWドライブが唯一のSCSI機器の場合とSCSIディジーチェーンの最終端の場合は、ターミネータスイッチをオンにしてください。

## お手入れについて

キャビネットやパネル面などは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を5~6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

## DVD-R/RW、CD-R/RWディスクについて

データを記録できない/記録中にエラーになる

- 推奨ディスクを使用していますか?
- 記録できるエリアは十分確保されていますか?
- ディスクファイナライズ(これ以上記録できないようにすること)したディスクを使用していませんか?
- ディスクはレーベル面を上、記録面を下にして正しくセットしましたか?
- ディスクが汚れたり、傷ついたりしていませんか?
- 動作インジケータ(READ/WRITE)がエラーの表示(オレンジ色の点滅)をしていませんか?  
本機の異常内部温度上昇を表示している場合は、本機の周囲温度が動作温度範囲内であるかどうか確認してください。

記録したディスクが読めない

- 推奨ディスクを使用していますか?
  - ディスクのレーベル面を上にしてディスクトレイにセットしましたか?
  - 未記録のディスクを使用していませんか?
  - ディスクが汚れたり、傷ついたりしていませんか?
  - SCSIケーブルがSCSIコネクタやその他のSCSI機器と正しく接続されていますか?
  - 動作インジケータ(READ/WRITE)がエラーの表示(オレンジ色の点滅)をしていませんか?  
本機の異常内部温度上昇を表示している場合は、本機の周囲温度が動作温度範囲内であるかどうか確認してください。
  - 水平な場所に設置していますか?
  - 光学部品およびディスクが結露していることも考えられるので、電源コードを抜いた状態でしばらく放置し、完全に乾燥するのを待ってから使用してみてください。
- その他、ディスクの記録方法に関しては、ご使用のアプリケーションソフトのマニュアルまたはヘルプ画面をご参照ください。

### より安定したディスクへの記録・再生のために

- 本製品の動作温度は+5 ~ +35 ですが、安定した記録と各種プレーヤー・DVD-ROMドライブでの再生のために、オフィスの通常の温度環境で記録・再生することをお勧めします。
- 記録するディスクは推奨ディスクをご使用ください。推奨ディスクについては販売店または弊社ホームページにてご確認ください。

## 仕様

### 一般

#### 使用ディスク

DVD ( Single layer/Dual layer )  
 DVD-R ( 記録はfor General Ver.2.0ディスクのみ )  
 DVD-RW ( Ver.1.1 )  
 CD-ROM Mode1  
 CD-ROM XA Mode2 (form1, form2)  
 Photo CD (single and multiple session)  
 CD-DA, CD-Extra, CD-R, CD-RW\*

\*High-Speed CD-RWには対応していません。

ローディング方式 ..... トレイローディング方式

#### 書き込み速度

CD-R	× 4、× 8
CD-RW	× 4
DVD-R	× 1、× 2
DVD-RW	× 1

#### 読み出し速度

CD-ROM	× 24 (MAX)
CD-R	× 16 (MAX)
CD-RW	× 16 (MAX)
DVD-ROM (Single)	× 4 (MAX)
DVD-ROM (Dual)	× 2
DVD-R	× 2
DVD-RW	× 2

#### 記録方法

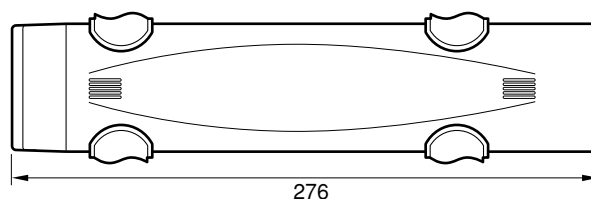
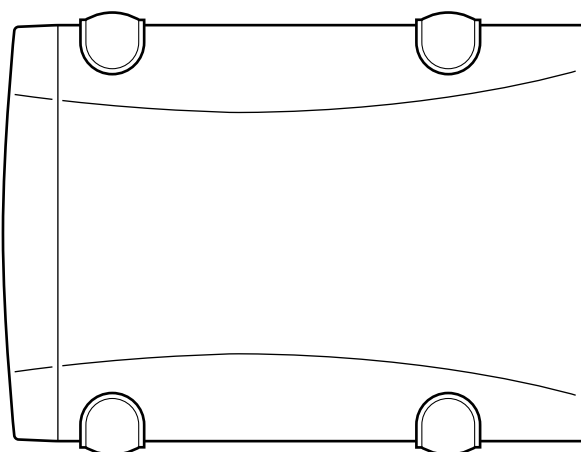
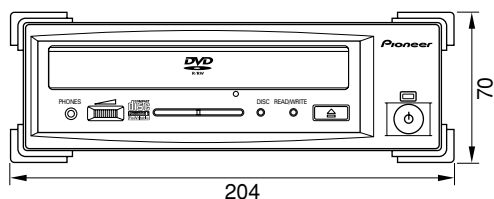
- Disc at once
- Incremental Recording  
 (32 KBytesリンクのみに対応)

データバッファ容量 ..... 2MBytes (記録時)  
 512KBytes (再生時)

インターフェイス ..... SCSI-2 (Fast SCSI)

### 付属品

電源コード、変換プラグ、アプリケーションソフト、  
 強制イジェクト用ピン、取扱説明書、保証書、  
 サービスネットワーク



単位: mm

### その他

電源 ..... AC100V / 28W、50/60Hz  
 外形寸法 ..... 204(幅) × 70(高さ) × 276(奥行き) mm  
 本体質量 ..... 2.8kg  
 動作温度 ..... +5 ~ +35  
 動作湿度 ..... 10% ~ 80% (結露のないこと)  
 保存温度 ..... -20 ~ +60  
 保存湿度 ..... 5% ~ 90% (結露のないこと)  
 設置方向 ..... 水平  
 SCSIコネクタ形状 ..... ハーフピッチ50ピン

- 本機で記録したディスク (DVD-R, DVD-RW, CD-R, CD-RW) は、各ディスクの再生に対応しているプレーヤー、ドライブ以外では正しく再生されない場合があります。また、Incremental Recordingで記録したディスクについては、そのディスクの再生に対応していないドライブもありますのでご注意ください。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 保証とアフターサービスについて

### 保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず取扱店名・購入日等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### 保証期間と保証内容について

#### 保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。  
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後最低8年間保有しています。

### 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

#### 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

#### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

#### 保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは

テクニカルサポートセンター 03-3763-2936  
受付時間：10:00～18:00  
(ただし、土曜日、日曜日、祝日、弊社休日は除く)  
E-mail : [bsc\\_tsc@post.pioneer.co.jp](mailto:bsc_tsc@post.pioneer.co.jp)

製品に関する情報のご案内

<http://wwwbsc.pioneer.co.jp>

付属のアプリケーションソフトに関する相談は、各アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にお問い合わせください。

### お客様メモ

おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年 月 日	型番	DVR-S303

この取扱説明書は再生紙を使用しています。